



今こそ、社民党 もうこれ以上、沖縄を犠牲にできない!!

日米両政府は5月28日の日米共同声明で現行案とほぼ同じ内容となる「普天間基地の移設先は辺野古崎地区と隣接する水域」とし、「沖縄の負担軽減のため徳之島や日本本土の自衛隊施設などでの訓練移転を検討する」と発表しました。そして、社民党福島党首は、辺野古移設が明記された閣議決定での署名を拒否したことから、臨時閣議で閣僚を罷免されました。その後、社民党は「沖縄県民の合意が得られておらず、沖縄県民を裏切ることはできない」「連立政権内の合意も得られていない」として連立政権の離脱を選択しました。

「吉田ただとも」は、沖縄の60年間に及ぶ負担を考えたときに、鳩山政権は「沖縄にまた我慢してください」ではなく、アメリカ政府に対して「グアム・テニアン等への移設」を訴えるべきだと考えます。そして、今回の日米共同宣言で普天間基地問題が解決したとは思っていません。普天間基地の問題は、沖縄だけの問題ではなく、日本の将来のあり方の問題ととらえて、平和と護憲の社民党の一員として取り組みます。皆さんのパワーを「吉田ただとも」にください。

今こそ、社民党 1 普天間基地は 国外移設へ

沖縄海兵隊はグアムへ移転を開始

世界的な米軍再編により沖縄の海兵隊12,000人のうち8,000人がグアムに移転します。すでに米議会で予算措置され6月からは移転計画が実行されます。日本政府も移転費用として60億ドル(約6,000億円)の思いやり予算を約束しています。海兵隊の一体的な行動を考えるとヘリ部隊も近隣への移転が常識です。

北マリアナ州テニアン島が基地誘致を熱望

北マリアナ州議会は、普天間基地の誘致を決議し、テニアン市長が来日して社民党福島党首に普天間基地誘致を要請しました。また、5月27日には普天間基地はテニアンへの移設が最良とする超党派の国会議員181人も活動を始めています。

「抑止力」は理由にならない

鳩山首相は「抑止力が必要だから」という理由で国外・県外移設を断念しました。抑止力は本来、在日米軍全体の総合力で判断すべきです。海兵隊の大部分がグアムに移転し、沖縄に残る海兵隊の実働部隊は1,000人以下と言われます。抑止力としてはあまりにも少なく、全く説得力がありません。

沖縄県民、国民の期待を裏切る日米合意

昨年9月に社民党・民主党・国民新党で「米軍再編や在日米軍基地のあり方についても見直しの方向で臨む」と政策合意して、連立政権が誕生しました。そして、鳩山首相は普天間基地の移設は「国外、最低でも県外と」と発言しました。鳩山首相が沖縄県民や連立政権内の合意を得ずに日米合意を優先させたことは納得できません。

今こそ、社民党 2 世界の流れは 社民主義

英国のサッチャー元首相、米国のレーガン・ブッシュ元大統領、小泉元首相等による新自由主義(競争第一主義)が世界を席捲し、お金持ちだけがよりお金持ちになり、国民生活が苦しい時代がありました。

しかし、現在、欧州諸国を中心に社会民主主義勢力が、国民生活には福祉と雇用が不可欠であることを訴え、圧倒的な支持を集めています。

日本は、労働者を犠牲にしたうえで利益追求が最優先にされた結果、人間らしい労働、人間らしい生活、自然環境の保護などが置き去りにされ、人々のくらしと安全が脅かされる格差社会が継続しています。

国民生活を考えたときに、いきすぎた経済至上主義と決別し、国民生活を優先する社会民主主義こそが次代の担い手であり、世界の流れであることを知ってください。

社民党は「平和・自由・平等・共生」という基本理念を掲げ、混迷する日本政治を改革し、唯一の社会民主主義政党として日本を牽引し頑張っていきます。

世界の社民主義政権

イギリス	1997年～2010年	労働党
フランス	1981年～1995年	社会党
スペイン	2004年～現在	社会労働党
ポルトガル	2005年～現在	社会党
ドイツ	1998年～2010年	社会民主党
オーストリア	2007年～現在	社会民主党
デンマーク	1993年～2001年	社会民主党
スウェーデン	1994年～2006年	社会民主労働党
ノルウェー	2005年～現在	労働党
オーストラリア	2007年～現在	労働党

- 政策 1 格差を解消し景気回復を
- 政策 2 不公平税制の是正を
- 政策 3 働く人の環境改善を
- 政策 4 中小企業の活性化と雇用の拡大を
- 政策 5 第1次産業に希望を
- 政策 6 子どもたちが生き生きと育つ環境を
- 政策 7 安心して生活できる社会保障制度を
- 政策 8 子どもたちに美しい自然と未来を
- 政策 9 普天間基地は国外移転を

比例代表のポイント

投票用紙に個人名の記載を

比例代表選挙では、「個人名」でも「政党名」でも投票することができます。しかし、当選は政党内での「個人名」の投票数の多さで決定します。

つまり「吉田ただとも」を国会へ送り出すためには、「社民党」での得票ではなく「個人名」での得票を増やす必要があります。

比例代表選挙は個人名で!

